



社会福祉法人

いのちの電話 東京

2021年度 事業報告



はじめに

コロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ侵攻という2つの世界規模の社会情勢の変化を体験しております。いのちの電話の活動に温かなご支援とご協力を頂いております皆様方にも、不安とお心を痛める日々をお送りのことと拝察いたします。安心・安全な環境と心の自由の大切さは、私たちが生きていく上で至上の命題とも言えます。「いのちの電話」活動継続にとっても、守るべき価値観だと改めて思いました。

さて、この1年間の業務報告を皆様にお届けする時期が参りました。今年度は、活動継続50年という大きな節目を迎えて、歩みの再確認と今後の活動に向けての新たな芽吹きを感じるコロナ禍2年目の1年間でした。全体としては、コロナ禍の情勢が6つの波を迎えるなど不安定な中で、相談員の方々・事務局スタッフ・研修スタッフ・ボランティア委員会・後援会の皆様が、力を合わせて相談活動の維持と充実化に努めました。

いのちの電話は、時代を映す社会的問題が相談件数の推移に表れていることも特徴の一つです。コロナ禍での社会不安は、SNSを介しての様々な支援活動の輪の拡がりやマスコミでも取り上げられていますが、若者や女性の自殺の増加にも現れていることが、昨年度と同様に、受信相談からも垣間見られます。日々の苦しみや悩みの蓄積が希死念慮につながっていることを心に銘記しつつ、新たな歩みを進めたいと思います。

チャリティーコンサートの中止や恒例のバザーの縮小を余儀なくされるなど活動の大幅な制約を強いられた後援会・広報活動でした。しかし、コンサートの次年度開催決定・ミニバザーの実施など状況に応じた対応や、いのちの尊さを実感しておられる方々からのご寄付を頂戴するなど、温かなご支援とご協力は何よりの活動の力になりました。

50周年記念の行事としては、実行委員会が中心となってボランティアの皆様や関係者の方のご協力のもと、記念式典・記念誌の出版などが催行されました。いのちの電話の歩みの振り返りを通しての活動継続への責任感の引継ぎは、今後のいのちの電話の歩みに豊かな土壌づくりとなることと信じます。

恒例の感謝式が3月に行われました。永年勤続相談員の皆様のコメントから伝わるお心が、誠実さ・一生懸命さ・謙虚さでした。活動の立ち返るべき基本的指針だと強く思いました。また、減少傾向にあった応募者が、コロナ禍で大幅に増加しました。相談員の増加は受信件数にも直結しますので心強く感じます。

日々の苦しみや悩みの蓄積が希死念慮につながっていることを心に銘記しつつ新たな1年の歩みを進めたいと思います。それぞれの活動内容、相談実態とその傾向の詳細につきましては、後続の報告をご参照くださいますように。ささやかでも生きる喜び・生きる力を伝えられる市民活動の一つとしてあり続けることが出来ますために、今後も皆様の温かなご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人いのちの電話
理事長 末松 渉



社会福祉法人いのちの電話の基本活動方針

社会福祉法人いのちの電話は、苦悩の多いこの時代にいきるものが互いによりき隣人となって、ひとりひとりのいのちを大切にしようという思いから生まれました。

「いのちの電話」は、思いを同じくする多くのボランティア相談員によって「電話」「インターネット」を通じた対話を中心に次に掲げる事項を基本として活動します。

- 一、「いのちの電話」は、すべての人、とくに危機に直面している人、自殺を考えている人、孤独のなかであって、助け・慰め・励ましを求めている一人一人に向けて開かれています。
- 一、「いのちの電話」は、相談者に対してよき隣人として開かれた心を持ち、親身になって対応することを基本とします。
- 一、「いのちの電話」は、相談の秘密を守ります。
- 一、「いのちの電話」は、相談者と相談員の双方の匿名性を尊重します。
- 一、「いのちの電話」は、相談者の思想、信条、信仰等を尊重します。
- 一、「いのちの電話」による電話相談は、無料です。
- 一、「いのちの電話」は、所定の研修を受けた人たちによって一日 24 時間体制で相談を受付けます。
- 一、「いのちの電話」は、電話相談以外の相談事業についても上記に述べた諸方針で行います。
- 一、「いのちの電話」は、主として寄付によって自主的に運営されています。

2021 年度社会福祉法人いのちの電話概況

2022 年 3 月現在

設 立	1971 年 10 月 1 日開局	相 談 時 間	24 時間（年中無休） ただし、4 月 10 日より深夜（22：00 から 8：00）の活動を休止し、9 月 1 日より曜日を限定して再開（日・月・火曜日は、8：00 から 22：00 まで、水木金土曜日は 24 時間）、11 月 10 日より 24 時間 365 日体制に復帰した
法 人 認 可	1973 年 12 月	活 動 内 容	電話相談 インターネット相談 医療相談 フリーダイヤル（毎月 10 日、20 日、30 日）
組 織	理事 11 名・監事 2 名・評議員 13 名	相 談 員 養 成	年 1 回公募
相談員実働数	222 名	相 談 員 研 修	継続研修 全体研修会等
認定者累計	1,862 名	運 営 費	年間経費：約 4,000 万円
受 信 件 数	15,594 件（2021 年 1 月～ 12 月） 男 6,570 件 女 9,024 件	機 関 紙	広報誌「いのちの電話—東京」
総受信件数	開局以来累計 1,386,031 件	関 連 団 体	一般社団法人日本いのちの電話連盟 日本自殺予防学会

2021 年度 活動内容

Ⅰ 実施した研修

1. 養成研修 (18 ヶ月)
 - 54 期生 (2 年目) 第Ⅲ期 16 名 ● 55 期生 (1 年目) 第Ⅰ期 35 名、第Ⅱ期 33 名
2. 継続研修
コロナによる緊急事態宣言により '21 4 月、9 月～12 月と '22 年 1 月、3 月の一部のみ実施
3. 全体研修 於研修室 300 A 及び ZOOM
 - 「電話相談再考～電話相談の意義とリスク・限界・課題について」 '21 年 9/10(金) 講師：岩田淳子氏 (成蹊大学教授) 参加者：26 名
 - 「精神疾患の理解と対応～相談の役割とは」 '21 年 11/17(水) 講師：菊地俊暁氏 (慶応義塾大学医学部 精神・神経科学教室) 参加者：29 名
 - 「若年層の自殺予防～コロナ禍の影響と今後の課題」 '21 年 12/20(月) 講師：勝又陽太郎氏 (東京都立大学准教授) 参加者：31 名
4. フリーダイヤル研修 於研修室 300 A、富士見町教会及び ZOOM
 - 「コロナ禍での貧困、支援現場からの報告」 '22 年 1/26(水) 講師：大西連氏 (認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事長) 参加者：25 名
 - 「ムスカシ電話相談をどう受ける」 '22 年 3/26(土) 講師：有田モト子氏 (横浜いのちの電話スーパーバイザー) 参加者：26 名
5. スキルアップをはかるための個人スーパービジョン
 - 講師：飯島睦子氏 (元研修委員長) 岩田淳子氏 (成蹊大学教授・臨床心理士) 逸見敏郎氏 (立教大学教授・臨床心理士) 参加者：7 名
6. インターネット相談研修
 - インターネット相談員養成研修
 - '21 年 8 月～'22 年 3 月 講義と OJT 参加者 9 名

Ⅱ 活動

1. 役員会
 - 理事会 第 26 回～第 29 回 (4 回) '21 年 4/28、5/18、10/20、'21 年 3/7
 - 評議員会 第 13 回～第 14 回 (2 回) '21 年 5/18、'21 年 3/25
2. 研修委員会
 - 委員会の開催 (6 回) '21 年 5/24、7/7、9/17、12/6 '22 年 2/24、3/11 (6 回の内 3 回メール)
 - リーダー会： 定例研修会、宿泊研修、継続グループ運営、相談員のケア、スーパービジョンの研修と実施 '21 年 6/30、9/29、10/30、11/29 '22 年 2/26、27 合宿、3/30
 - 地域連携プログラム '21 年 11/1、11/17 東京福祉大 各 4 3 名参加・'21 年 11/20 ローターアクト 28 名参加・'22 年 1/18 中央区思春期講座 16 名参加
3. 運営協議会
 - 委員会の開催 第 128 回～第 129 回 (2 回) '21 年 7/10、11/13
4. ボランティア委員会
 - 各継続グループから委員を選出し、隔月に委員会を開催 (3 回) '21 年 7/10、11/13、1/8
 - 内容は、相互交流、情報・意見の交換、連絡、行事への参加協力、研修への提案、組織運営への理解と提案等
 - 全体会 (毎年 3 月) の企画・実施 3/12
5. 広報委員会
 - 年 2 回、機関紙『いのちの電話 東京』を発行 ('21 年度は 165 号・166 号)
6. 財務委員会 (3 回)
 - 財務 (予算・決算・その他) ● 委員会の開催 '21 年 4/19 (決算案)、10/13 (中間決算等)、'22 年 2/24 (予算案)
7. インターネット相談委員会
 - 委員会の開催 (5 回) '21 年 6/12、9/23、12/18、'22 年 1/23、3/5
 - コーディネーター会の開催 (11 回) '21 年 4/23、5/15、7/10、8/17、9/17、10/16、11/6、12/11、'22 年 1/22、2/17、3/10

Ⅲ その他

1. 相談員 (56 期生) の募集
 - '22 年 4/30 まで募集
 - 応募者 67 名
2. 感謝式・全体会 (3/12(土))
 - 永年勤続感謝：30 年 (26 期) 6 名、20 年 (36 期) 7 名、10 年 (46 期) 14 名
3. 厚生労働省事業への参加協力 ('21 年 1 月～12 月)
 - 補助事業「自殺予防フリーダイヤル」に参加 期間：毎月 10 日 (4～8 月除く) 朝 8:00～翌朝 8:00 (3 月から朝 8:00～22:00) 専用電話 1 本 参加者：延べ人数 74 名 受信件数：392 件 ※毎日フリーダイヤル (20 日・30 日) 16:00～21:00
4. その他 苦情対応 事務局で対応 相談事業に対する苦情 28 件 ('21 年 1～12 月)

2021 年度 相談の実態とその傾向

● 電話相談の統計から

2021 年（1 月～12 月）の電話相談受信件数は 15,594 件（前年比△6.2%）であった。新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に伴い、昨年に続き活動に参加できる相談員が減少したため受信件数が減少したと思われる。男女比では、女性からの相談が多い傾向に変化は見られなかった（男性 6,570、女性 9,024）。相談を利用した年代は 50 代が最も多く、次に 40 代、60 代と高年齢層の増加傾向が続いている。相談の内容では、コロナ以前から何らかの生きづらさを抱えてきた人たちが、一層追い詰められていたり、孤独・孤立・心の病・就労困難・老親の介護（8050問題）など、一人で複数の問題を抱えて、生きづらさを訴える相談が多く寄せられた。自殺志向は若年層が、高年齢層に比して高い傾向がみられる。年間を通しての自殺志向率は前年と変わらない数字となった。

※平均通話時間：29.6 分（男性 24.4 分、女性 33.4 分）

表 1 電話相談 年代別件数

	男性	女性	2021 年 合計	2020 年 合計
10 代	132	38	170	168
20 代	306	314	620	702
30 代	864	905	1,769	2,063
40 代	1,308	1,948	3,256	3,780
50 代	1,885	2,541	4,426	4,633
60 代	1,201	1,764	2,965	3,129
70 代	318	1,000	1,318	1,033
不明	556	514	1,070	1,118
合計	6,570	9,024	15,594	16,626

図 1

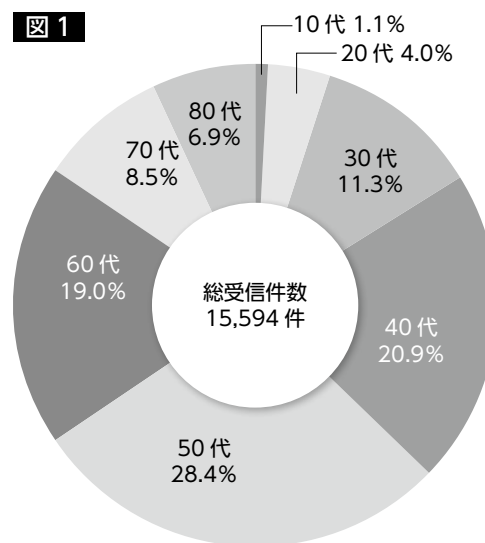


表 2 電話相談 問題別件数

	男性	女性	2021 年 合計	2020 年 合計
人生	2,118	2,866	4,984	4,825
思想・人権	53	33	86	92
職業	426	405	831	895
経済	222	190	412	424
家族 (含親族)	452	1,112	1,564	1,948
夫婦	152	459	611	646
教育	17	18	35	42
対人	376	1,240	1,616	1,771
男女	262	239	501	641
身体	241	507	748	869
精神	1,283	1,633	2,916	3,299
情報	42	65	107	156
その他	926	257	1,183	1,018
合計	6,570	9,024	15,594	16,626

図 2

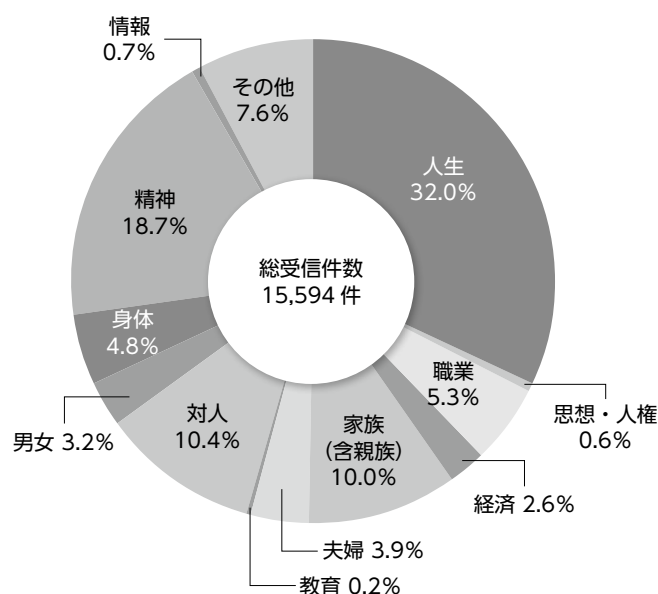
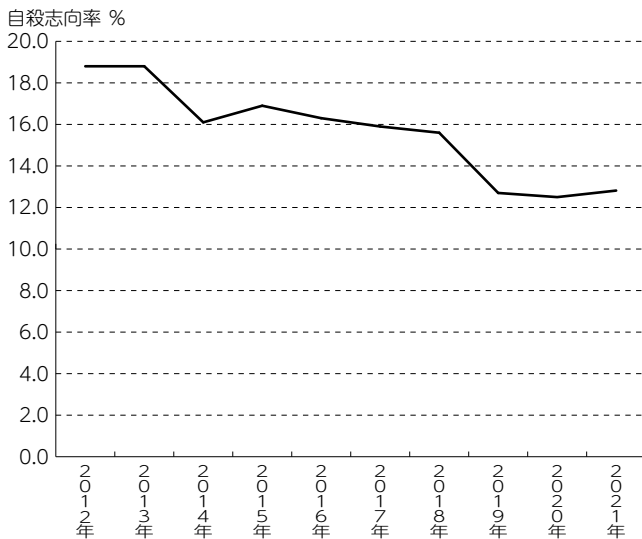
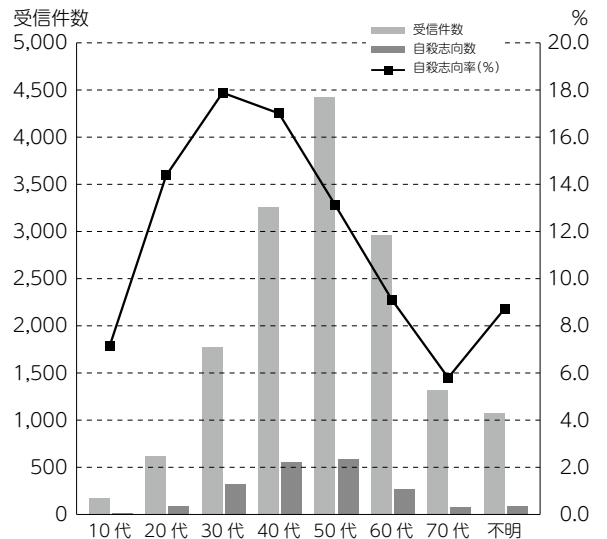


図3 電話相談 10年間の自殺志向率



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
受信件数	27,517	28,276	28,164	27,161	25,443	24,135	22,194	21,440	16,626	15,594
自殺志向率(%)	18.8	18.8	16.1	16.9	16.3	15.9	15.6	12.7	12.5	12.8

図4 電話相談 年代別受信件数と自殺志向率



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
受信件数	170	620	1,769	3,256	4,426	2,965	1,318	1,070
自殺志向率	12	90	320	559	583	271	75	93
自殺志向率(%)	7.1	14.5	18.1	17.2	13.2	9.1	5.7	8.7

土曜医療相談

カトリック医師会、キリスト者医科連盟等の医師により毎週土曜日 14 時～ 17 時に行われている。

2021 年の相談件数は 328 件（男性 126 名、女性 202 名）（男性 38%、女性 62%）。月毎の平均通話数は約 27 件である。医療情報がネットなどで容易に得られることが影響してか、若年者からの相談件数は極めて少ない。

コロナの影響もあるのか、相談件数は 2019 年まで減少傾向にあったが、2020 年以降は増加している。

科目別では、精神科関連が多く、治療中の方からのものが多い。コロナに関しては不安要素のひとつ程度の影響のようである。繰り返しかけてくる方も多く、疾患・医療そのものの他に、医師や家族との関係性や病を持っているための生きにくさなど、複合的な相談やただ話したいという方が多い。

希死念慮のある方は少ないが、持病があることで急な変化を起こす可能性も高く、丁寧に対応することが求められている。

【科目別】 2021 年 1 月～ 12 月

	男性	女性	合計
精神科（心療内科）	64	120	184
内科	35	73	108
外科（整形外科）	9	20	29
婦人科・産婦人科	0	4	4
泌尿器科	2	5	7
皮膚科	0	0	0
耳鼻科	1	5	6
歯科	0	5	5
眼科	1	1	2
小児科	0	0	0
性について	0	0	0
エイズ	0	0	0
健康相談	1	3	4
美容形成	0	0	0
その他	32	20	52
合計	145	256	401

* 複数回答あり

【月別相談件数】 2021 年 1 月～ 12 月

	男性	女性	合計
1 月	13	8	21
2 月	9	12	21
3 月	6	13	19
4 月	10	14	24
5 月	12	23	35
6 月	9	23	32
7 月	12	27	39
8 月	7	22	29
9 月	13	18	31
10 月	10	21	31
11 月	15	14	29
12 月	10	7	17
合計	126	202	328
2020 年			304
2019 年			231

フリーダイヤル

全国のセンターが参加してフリーダイヤルで電話を受けている。

昨年は、コロナ禍で参加できない月があったが、本年は恒常的に参加できたために前年比 69% 増になった。通常電話より自殺志向率が高いことが特徴である。

	男	女	計
相談件数	189	203	392
自殺志向数	37	50	87
自殺志向率	19.6%	24.6%	22.2%
平均通話時間（分）	18	21	20

担当延べ人数 74 人 2021 年 1 月～ 12 月

インターネット相談

インターネット相談は、埼玉いのちの電話の運営管理により、埼玉、東京、川崎センターの協同でいのちの電話みんなのインターネット相談として実施した。相談返信件数は全体で1,448件（男性386件、女性945件、非開示117件）自殺志向率は37.9%。若年層からの相談が全体の約6割と前年同様高い割合であるが、40代、50代からの相談も増加している。相談内容では、孤独や生き方についての相談が多く、また件数は少ないが経済問題等の増加にコロナの影響がうかがえる。うち東京センターが対応したのは484件。

また、日本いのちの電話連盟によるインターネット相談事業は、引き続き盛岡、仙台、秋田、新潟、栃木、埼玉、東京、川崎、静岡、浜松、愛知、奈良、愛媛、福岡、熊本センターにより実施した。相談件数は全体で1,238件（男性469件、女性738件、その他31件）自殺志向率は43.2%。うち東京センターが対応した相談は24件であった。

図5 インターネット相談 年代別

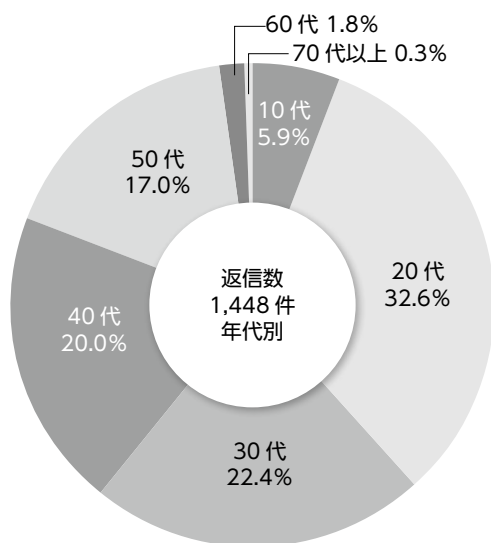
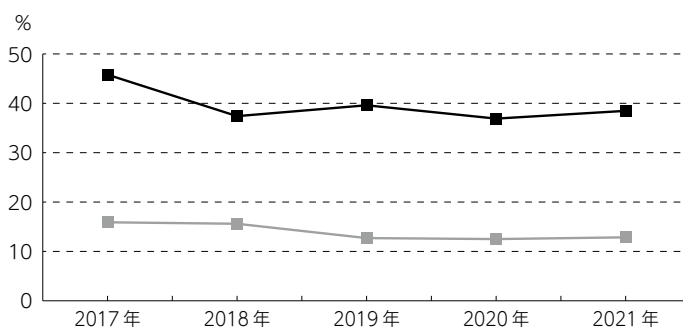


図7 過去5年間の電話相談とネット相談の自殺志向比較



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
電話相談%	15.9	15.6	12.7	12.5	12.8
ネット相談%	45.8	37.4	39.6	36.9	37.9

図6 インターネット相談 問題別

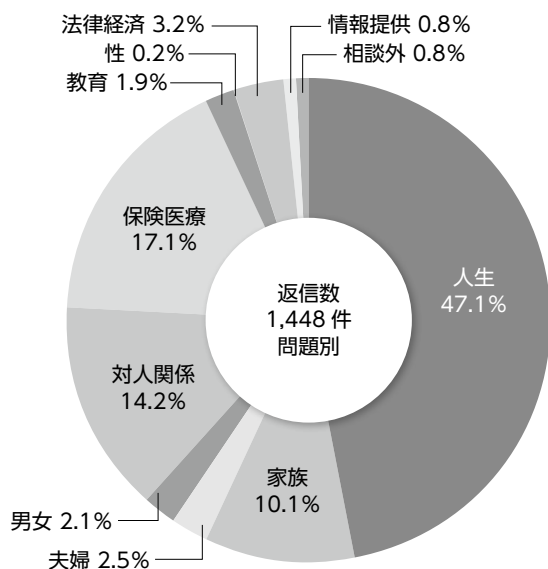
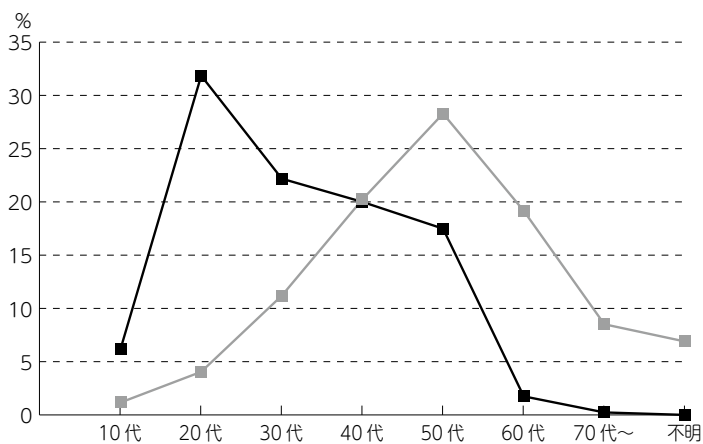


図8 2021年電話相談とネット相談の世代別比較



年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~	不明
電話%	1.1	4.0	11.3	20.9	28.4	19.0	8.5	6.9
ネット%	5.9	32.6	22.4	20	17	1.8	0.3	0

2021 年度 決算報告

2021 年度収支決算書 (自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日)

単位：円

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
賛助（団体）	12,369,525	施設管理費	6,431,760
賛助（個人）	10,879,120	相談員研修費・ボランティア厚生費	7,242,887
後援会チャリティ寄付	910,000	連盟連帯費	1,536,000
東京都電話事業補助金	1,825,000	通信費・交通費	2,234,883
共同募金・年賀寄付金分配金	292,000	広報印刷費・調査研究費	615,390
研修受講料	1,136,500	システム運用費	1,626,506
雑収入	716,421	事務費・人件費	10,037,752
受取利息	2,475	事務用消耗品費	2,093,020
50 周年記念事業引当金取崩	1,000,000	什器備品費	1,777,578
減価償却資金積立金取崩	900,000	減価償却費	948,650
固定資産基金取崩	3,193,539	50 周年記念事業費	2,417,119
相談事業積立金取崩	3,736,965		
収入総合計	36,961,545	支出総合計	36,961,545

(注) 当期活動収支差額は △ 6,930,504 円。

2021 年度貸借対照表 (2022 年 3 月 31 日現在)

単位：円

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金預金	6,977,117	預り金（公租公課・他）	432,345
仮払金	36,536	基本金	100,000,000
積立金資産	102,015,334	その他積立金	102,015,334
基本財産特定預金	100,000,000	正味財産増減差額	15,648,049
ソフトウエア	2,601,360		
建物構築物	2,383,843		
電話権利	1,355,020		
差入保証金	2,726,518		
合 計	218,095,728	合 計	218,095,728

監査報告
社会福祉法人いもの電話の 2021 年度（令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）における財務諸表および付属明細書、並びに財産目録の各事項について、社会福祉法人会計基準により監査したところ、その内容は適正かつ正確なものと認めます。
定款等諸規定にもとづく業務ならびに総務定元帳、伝票、収支簿等についても監査した結果、適切に執行されているものと認めます。
事業報告またはその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重要な事実はありません。
令和 4 年 4 月 30 日
社会福祉法人 いもの電話
監事 京都府 中村清純

2022 年度 予算書

2022 年度収支予算書 (自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日)

単位：円

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
賛助（団体）	11,000,000	施設管理費	6,400,000
賛助（個人）	9,000,000	相談員研修・ボランティア厚生費	9,530,000
後援会チャリティ寄付	500,000	連盟連帯費	1,430,000
東京都電話事業補助金	1,825,000	通信費・交通費	2,510,000
共同募金分配金	300,000	広報費・調査研究費	880,000
研修受講料	2,625,000	システム運用費	1,280,000
雑収入	667,000	事務費・人件費等	10,520,000
受取利息	3,000	事務用消耗品費	2,080,000
減価償却資金積立金取崩	900,000	什器備品費	400,000
相談事業積立金取崩	9,255,950	減価償却費	1,045,950
収入総合計	36,075,950	支出総合計	36,075,950

2022（令和 4）年度 事業計画

社会福祉法人としての使命を十全に果たすため、組織が直面する諸課題に対処し、先見力・発信力を重視した組織運営を志向しつつ、具体的施策を立案・実行する。

1. 相談事業の安定的な実施

(1) 電話相談

電話相談の年中無休 24 時間体制を、維持継続する。

(2) インターネット相談

インターネットメール相談を維持継続する。

(3) 土曜医療相談

協力医師による毎週土曜日の電話医療相談を継続する。

2. 相談体制の充実と強化

いのちの電話の理念に基づいた相談活動を継続・拡充するべく、相談体制の充実・強化を図るとともに、社会の変化や若年層からの相談の減少等に対応した相談体制の検討を推進する。

(1) 電話相談員の誓約事項の遵守と、活動内容の活性化を図る。

(2) いままでの活動の意味や成果を確認し、相談活動の現状の問題点を洗い出し、中長期的な展望を取りまとめ組織全体での問題意識を共有し改善に努める。

(3) 相談員のモチベーションを維持し、支えるために、相談活動の成果を的確にフィードバックするなど必要な支援を推進する。

(4) 募集要項の周知の強化、応募動機への訴求拡大などによって、相談員応募の拡充を目指す。

(5) 認定後の研修について、継続研修を基本として、全体研修、フォローアップ研修、個人スーパービジョンと連携を図りつつ実施し、サポート体制の強化につなげる。

3. 活動への支援拡大に向けての取り組み

いのちの電話が、広く理解され、支援を得るために、積極的な広報活動に取り組む。

(1) 後援会主催のチャリティ行事等の実施へ協力し、健全な財政を維持する。

(2) ホームページ等広報ツールを刷新して、より積極的な広報活動を展開する。

(3) いのちの電話が持っている研修ノウハウ等を地域に還元するべく、地方公共団体、企業、学校などに向けた講座等を提供する。

4. 社会・外部組織との関係の強化

(1) 各種の相談ネットワークとの関係づくりを進めるとともに、連携を図る。

(2) 自助活動団体などとの連携を図る。

(3) 日本いのちの電話連盟および他のセンター等との連携、協力を図る。

・厚生労働省補助事業自殺防止対策事業に参加する。

・他センターと協力してインターネット相談事業の拡充を図る。

社会福祉法人 いのちの電話役員等名簿.....

2022 年 6 月 1 日現在

任期
2021 年 5 月 18 日～ 2023 年定時評議員会終結時

任期
2021 年 5 月 18 日～ 2025 年定時評議員会終結時

理 事 計 11 名

末松 渉	(社福) いのちの電話 理事長、 末松T Aコミュニティ研究所所長、臨床心理士
井村 華子	弁護士
植村 みどり	(社福) いのちの電話 ボランティア
大瀧 京子	(社福) いのちの電話 ボランティア
大西 連	認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・ もやい 理事長
岡村 五十男	(社福) いのちの電話 後援会会長
小澤 康司	立正大学心理学部 教授
倉本 英彦	精神科医
栗原 郁男	(社福) いのちの電話 ボランティア
長谷部 俊治	元法政大学社会学部教授 元研修副委員長
逸見 敏郎	立教大学文学部教授 研修委員長

監 事 計 2 名

富部 直希	税理士
中村 清純	水町保険診療所医師

顧問等

顧 問	佐藤治隆 (弁護士)
苦情処理第三者委員	久保美紀 (明治学院大学教授)、 佐藤治隆 (弁護士)

評議員 計 13 名

岩田 淳子	成蹊大学文学部教授
神田 佳和	(社福) いのちの電話 ボランティア
菊地 俊暁	慶応義塾大学医学部
北川 逸英	杉並聖真ルーテル教会牧師
清水 和良	(社福) 荒川区社会福祉協議会
杉山 恵子	(社福) いのちの電話 ボランティア
高瀬 幸子	産婦人科医師 (順天堂大学) 東京女子大学非常勤講師 医療相談員
谷口 尋子	(社福) 埼玉いのちの電話理事
野田 芳朗	(社福) いのちの電話後援会理事
樋田大二郎	青山学院大学教育人間科学部教授
藤盛 勇紀	日本基督教団富士見町教会牧師
藤原 佐世美	(社福) いのちの電話 ボランティア
山崎 隆	(社福) いのちの電話 ボランティア

50 音順 (理事長以外) 敬称略

後援会役員.....

2022 年 4 月 1 日

任期 2022 年 4 月 1 日から 2024 年 6 月後援会総会日まで

会 長	岡村五十男						
常任理事 6 名	岡内泰子	木川道子	郡山直	徳川信子	三崎由美子	渡辺富子	
理 事 7 名	浅見正博	今村郁子	植村みどり	各務啓子	神田佳和	野田芳朗	野呂雅彦
監 事 1 名	富部直希						
顧 問 2 名	高村治子	中村武照					

～表紙画『ブルーポピーに魅せられて』 作者より～



夢ら丘実果様と齋藤友紀雄先生の授業

娘の学校で起きていたいじめや自殺未遂などに遭遇する中で、子ども達の命と心を守りたいとの思いから、2007年、いのちの電話連盟の創設メンバーである齋藤友紀雄先生や精神科医の保坂隆先生など自殺予防の専門家の方々と共に絵本『カーくんと森のなかまたち』を出版し、読み聞かせを続けてまいりました。齋藤先生からは、「日本では、海外のように心の健康のための教育が行われていない。あなたが旗振り役となって授業を進めて

ほしい」と言われ、「いのちの授業」を続けていた聖路加国際病院の日野原理事長にも励ましていただき、娘の学校で読み聞かせを始めました。

活動は15年目となり900回を超えました。教育委員会等からのご依頼で全国の学校や児童養護施設子ども食堂等に出かけています。絵本が全小中学校に配布された東京や千葉、茨城など各地で行う授業には、その地域のいのちの電話の事務局長様等がお越し下さり、お力添えいただきました。今年も、齋藤先生とのご縁を下さった文章作者の吉澤誠先生と、佐世保を皮切りに各地に『命の授業』に出かけております。

絵本の主人公のホシガラスのカーくんは、周りの友人の長所ばかり気になり、容姿にも自信がなく「この世から消えたい」と悩んでいます。けれども、シロフクロウのホー先生に悩みを聞いてもらい、仲間の鳥達とのふれあいの中で自分の良さに気づき、生きる力を取り戻します。

実際、「死んでしまいたいと思っていたが、この絵本を読み聞かせてもらって、やっぱり生きていこうと思った」といった感想をいただく機会もあり、そんな感想に触れると、本当に嬉しくなります。

いのちの電話の皆様は、ホー先生やカーくんの友達のような優しさで苦しむ人々に寄り添い、これまで大勢の方々の命を救ってこられました。沢山の方々が生きる力を得たことでしょう。私自身、2歳から重症の喘息で入退院を繰り返し、絶望していた時期もありました。その頃に、いのちの電話について知っていたら、あれ程苦しむことはなかったと思います。これからも、「命の授業」を進め、いのちの電話の皆さま方と同じように、ひとりでも多くの子どもの大人の方々の助けになることが出来たら嬉しく思います。



絵本作家・画家 夢ら丘 実果

後 援 会

いのちの電話後援会は、いのちの電話の財政基盤を支え、支援の輪を広げるために、また相談員をはじめとする会員相互の親睦を図ることを目的として組織されています。

寄付金募集の協力、広報活動、財政支援事業（チャリティバザー、映画会、コンサート等）の実施、センター内での相談員の便宜を図るために関連図書、古本販売、また書き損じはがき、未使用切手の収集を行っています。

■ 2021 年度チャリティ事業報告

- 6月5日（土）50周年記念コンサート『花と名曲いのち奏でるコンサート』（於：銀座ブロッサム）及びチャリティバザーは、コロナの影響で中止となりました。
- 11月10日より約1か月間、いつも支援をして頂いている企業の方々からの献品をセンター内で販売し、完売となりました。

物品販売に支援して頂いた企業の方々

- ・エイワ株式会社・ジャパンローヤルゼリー株式会社
- ・玉の肌石鹸株式会社・ミヨシ石鹸株式会社
- ・ローズ産業株式会社

■ 2022 年度チャリティ事業計画

- ・「東京いのちの電話開局 50 周年 +1 記念」チャリティー公演
10月28日（金）銀座ブロッサム中央会館：18時開演
出演者：古今亭志ん輔と東京 HANA カルテット いのち奏でるコンサート

■ 2021 年度 寄付実績

社会福祉法人いのちの電話へ 91 万円寄付

ご 支 援 く だ さ い

東京いのちの電話には後援会があり、チャリティー活動を行っていますが、活動運営費の大部分は、個人・企業・各種団体からのご寄付に支えられています。社会福祉法人いのちの電話へのご寄付には、税制上の優遇措置がございます。

振込先

【郵便振替】 00140-3-162972 社会福祉法人いのちの電話

【銀行振込】 三菱 UFJ 銀行 神保町支店 普通預金口座 1084827 フク) イノチノデンワ



社会福祉法人

いのちの電話（東京）

■ 電話相談 [24 時間受付中]

03-3264-4343

■ 自殺予防 [フリーダイヤル]

0120-783-556

(毎日16:00～21:00、毎月10日は8:00から
翌日11日8:00まで、通話料は無料です)

■ インターネット相談

<https://www.inochinodenwa-net.jp/>

■ 東京いのちの電話ホームページ

<https://www.indt.jp/>

東京いのちの電話

検索



[発行日] 2022 年 6 月 [発行人] 末松 渉 [事務局] 〒102-0071 飯田橋郵便局留

[TEL] 03-3263-5794 (代) [FAX] 03-3264-4949 [HP] <https://www.indt.jp/> [印刷] 株式会社ユニックス